

田川委員（公明党）

令和2年3月12日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）特別支援教育におけるICTの活用について

障害により学習に困難のある子供たちに対しては、ICT機器の整備とともに、ソフトウェアを含む専用教材教具の整備、各教科における効果的な指導方法の修得、障害のある子供の特性を理解したICT支援員の配置等を計画的に進めていくことが必要であると考え、教育長の所見を伺う。

（答）

障害のある児童生徒には、ICTを活用し、障害特性や発達段階に応じた機器やソフトウェアの選定、効果的な指導方法などの取組を行うことは大変重要であると認識しております。

そのため、視覚障害のある生徒には、音声読み上げ機能を活用したり、知的障害のある生徒には、画像や動画を用いた視覚支援などの効果的な学習を支援してまいりました。

今後におきましても、県教育委員会といたしましては、各学校のICT環境を整備し、教員の専門性の向上を図り、ICT支援員を配置することなどにより、障害特性に応じた教育を計画的に推進してまいります。